「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

当行では、17年3月に金融庁より発表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき、同年8月に「地域密着型金融推進計画」を策定しました。これに基づき、地域経済の活性化に資するよう「事業再生・中小企業金融の円滑化」「経営力の強化」「地域の利用者の利便性向上」に向けた各種取組みを実施しています。17年度は概ね計画どおりに進捗しています。

● 平成17年4月～平成18年3月の進捗状況（概要）

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

- 事業再生の専担部門となる「企業支援グループ」を設け専担者2名を配置し、事業再生機能の強化を図りました。また、経営シミュレーションソフトを活用し債務者に対する経営改善計画の作成支援、モニタリング支援強化を図りました。
- 中小企業診断士を育成し、業種別審査担当者として審査管理部へ配置しました。今後とも創業・新規事業支援により地域経済の活性化に努めてまいります。
- (株)リサパートナーズと提携し「きょうぎん事業再生ファンド」を組成しました。
- 業界団体が行う「目利き」「経営支援」「再生支援」の能力強化研修に引き続き参加し、行員の融資審査、企業支援能力向上に努めてきました。
- 政府系金融機関との協調融資、ビジネスクラブの活動を中心とした経営情報の提供等を実施しました。
- 中小企業再生支援協議会との連携では、取引先企業へのD D S（既存貸出債権の劣後ローン化）の導入による再生支援を実施しました。
- 担保・保証に過度に依存しない融資として、無担保・第三者保証人不要の事業者ローンを推進強化し計画どおりに実行しました。平成18年4月には、従前スモールビジネスローン「アクティブ」を機能強化し、また、オリックス(株)保証の「アクティブII」を発売し推進強化しています。

2. 経営力の強化

- 信用リスクデータの精緻化のため担保評価や格付自己査定システムを導入、また金利リスク管理の機能向上のため新A L Mシステムの導入を決定しました。また、業界団体等が行う研究会に参加し、リスク管理の高度化に向けて検討を行っています。
- 収益管理態勢の整備と収益力の向上のため、営業店への明確な収益目標の設定、月次管理の徹底を図っており、取引先ニーズの高い事業者ローンや投資信託、個人年金保険の販売を強化しました。これにより、本業の収益力を表すコア業務純益は増加し、当行の収益性は着実に向上しています。
- ガバナンスの強化は、規程の改正等による監査の強化、組織体制の整備等を進め、法令遵守態勢についても、コンプライアンスに関する規程の改正や研修の充実を図りました。
- I T戦略ワーキンググループを設置し、投資効果等を一元的に検討する体制としました。
- 本部機構を抜本的に見直し、課制度を廃止しグループ制を導入、同時に事務分掌規程を改定しました。これにより、業務の統合を図ることで、各部の隘路となっていた問題点を解決し、担当部署や責任の所在を明確にし、業務の効率性向上及び内部統制の強化を図りました。
- 内部統制に係る体制整備のため、外部コンサルタントを導入しました。

3. 地域の利用者の利便性向上

- 行員のコンサルティング能力向上に資するよう、引き続き、企業支援の外部研修受講や投資信託の集合研修を計画的に実施し、ファイナンシャル・プランナー（F P）等の有資格者の育成にも努めました。
- (株)セブン銀行とA T M利用提携を行いました。これにより、県内の地域金融機関で当行のカードだけが、ほぼ24時間利用可能となる上、平日昼間の手数料は無料としましたので、お客さまの利便性は大きく向上しました。
- ホームページを全面リニューアルし、皆さまにご利用しやすいホームページにしました。またホームページ上から、各種個人ローンの仮審査申込を行えるようにしました。
- 顧客満足度調査を実施し、現在、改善策を検討中です。また、ホームページに意見・要望のページを設けました。